

可児御嵩バイパスの整備効果

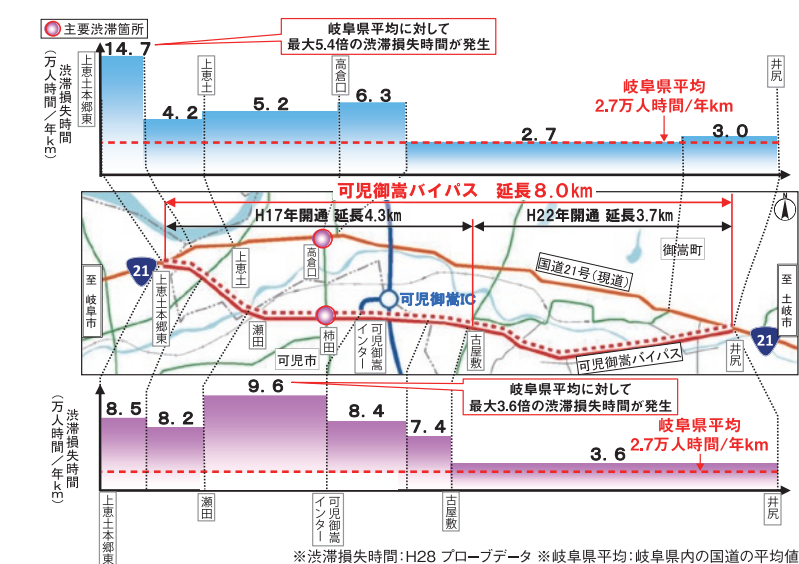
交通渋滞の緩和

可児御嵩バイパスの全線暫定2車線開通により、国道21号(現道)の交通量が減少し、渋滞が緩和しましたが、依然として可児御嵩バイパス及び並行する国道21号(現道)の交差点が主要渋滞箇所を選定されています。

【整備による効果】

- 可児御嵩バイパスの整備(4車線化)により、バイパスの交通容量が拡大し、可児御嵩バイパス及び国道21号の渋滞緩和が期待されます。

＜可児御嵩バイパス周辺の交通状況(暫定2車線開通時)＞

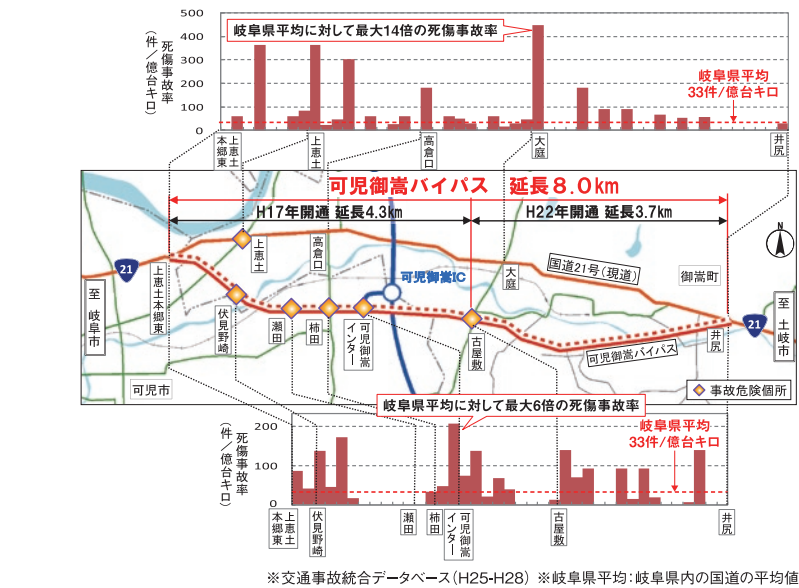


交通安全の確保

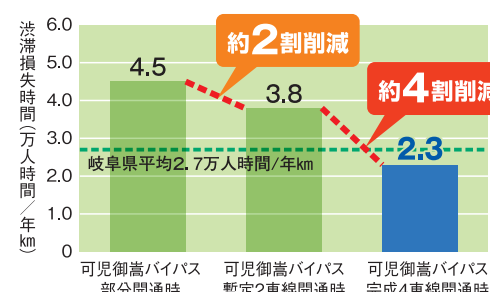
【整備による効果】

- 可児御嵩バイパスの整備(4車線化)により、国道21号(現道)の事故削減が期待されます。

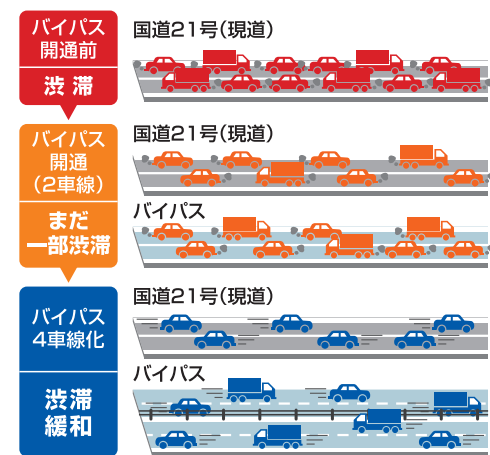
＜可児御嵩バイパスの死傷事故率(暫定2車線開通時)＞



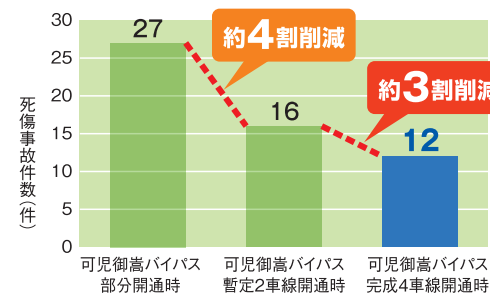
【国道21号(現道)の渋滞損失時間の削減効果】



- 部分開通時:平成21年度渋滞損失データ(H21国土交通省資料)
- 暫定2車線開通時:平成28年度渋滞損失データ(H28国土交通省資料)
- 完成4車線開通時:交通量推計により、整備あり(完成4車線)、整備なし(暫定2車線)における渋滞損失時間の変化率を求め算定



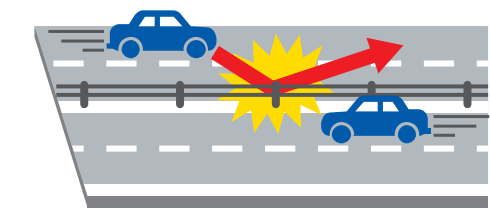
【国道21号(現道)の事故件数の削減効果】



- 部分開通時:交通事故総合データベース(H18~21)から算出
- 暫定2車線開通時:交通事故総合データベース(H25-H28)から算出
- 完成4車線開通時:交通量推計により、整備あり(完成4車線)、整備なし(暫定2車線)における死傷事故件数の変化率を求め算定

【可児御嵩バイパス(4車線化)の効果】

中央分離帯が設置されることによって、正面衝突事故の危険性が低くなり、事故減少につながります



ストック効果

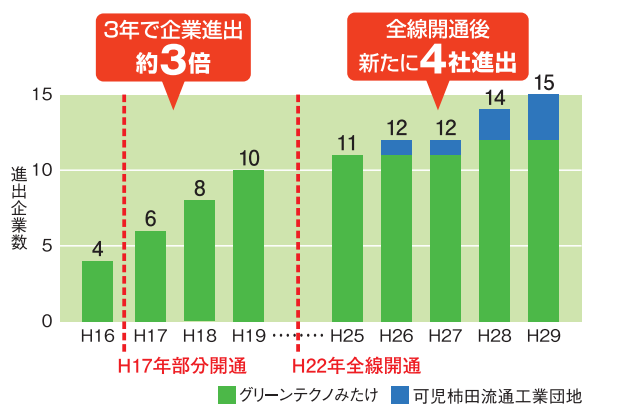
沿線地域の産業支援

【整備による効果】

- 周辺に位置する工業団地では、平成17年の部分開通後3年で企業進出数が約3倍に増加、全線暫定2車線開通後も企業が進出し、暫定開通後10年で可児市、御嵩町の製造品出荷額等が約2倍に増加しました。
- 沿線地域の工業団地に移転後、アクセス性を活かして事業拡大する企業もあり、今後さらなる雇用や製造品出荷額の増加が期待されます。



【周辺工業団地への進出企業数の推移】



国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6 (JR多治見駅下車 徒歩20分(1.3km))

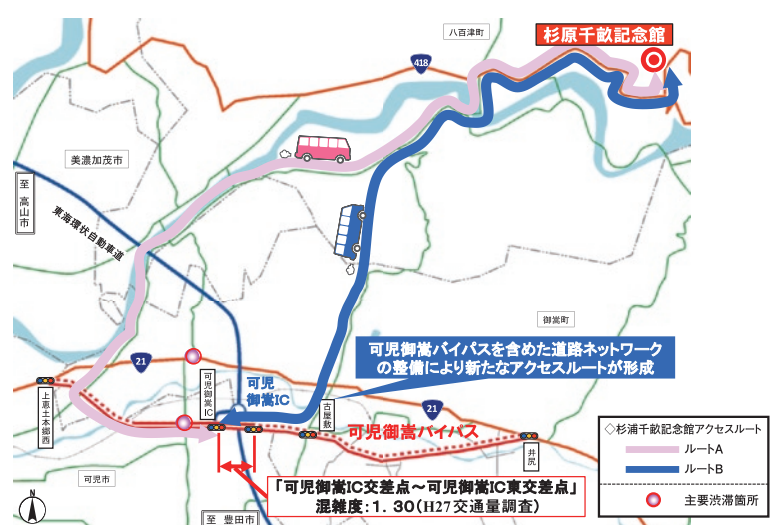
総務課 TEL 0572-25-8020 工務第一課 TEL 0572-25-8023
工務第二課 TEL 0572-25-8025 経理課 TEL 0572-25-8021
砂防調査課 TEL 0572-25-8024 計画課 TEL 0572-25-8026
用地第一課 TEL 0572-25-8022 道路管理課 TEL 0572-25-8027
用地第二課 TEL 0572-25-8176

多治見砂防国道事務所 HPアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>

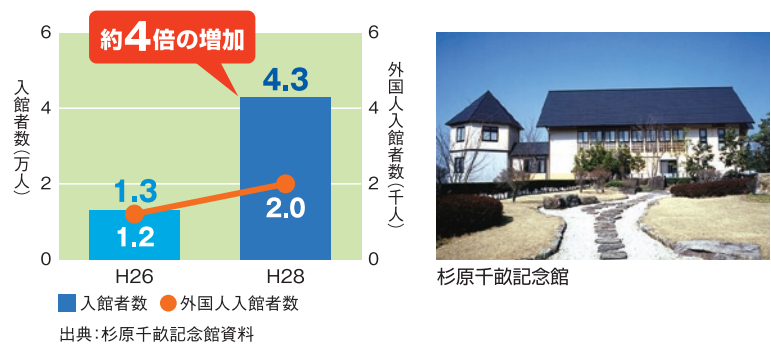
沿線地域の観光支援

【整備による効果】

- 八百津町にある「杉原千畝」を題材とした観光施設(杉原千畝記念館)の来訪者数が増加傾向にあり、アクセスルートとして可児御嵩バイパスが利用されています。
- 可児御嵩バイパスの完成4車線整備による更なる渋滞緩和、アクセス性向上により、移動の定時性の確保が期待されています。



【杉原千畝記念館の入館者数の推移】



国道21号のあらし

国道21号は岐阜県瑞浪市を起点とし、土岐市、御嵩町、可児市、美濃加茂市、各務原市、大垣市などの岐阜県の主要都市を経て滋賀県米原町に至る延長約102kmの主要幹線道路です。本路線は、古くから東京と京都を結ぶ中山道の一部として利用されてきました。

可児市と御嵩町には、中山道の宿場町として古くから栄えた伏見宿と御嵩宿があり、近年、中山道の宿場町を訪れる外国人観光客でにぎわいをみせています。



伏見宿

御嵩宿



可児御嵩バイパス

事業のあらし

国道21号可児御嵩バイパスは、岐阜県可児郡御嵩町井尻から可児市中恵土に至る延長8.0kmのバイパス事業で、平成3年度に事業着手し、平成22年度までに全線暫定2車線開通しています。

全線暫定2車線開通により、国道21号(現道)の交通量が減少し、交通渋滞が緩和したほか、周辺の工業団地では、企業進出が促進されるなどストック効果も発現してきています。一方、バイパスでは、柿田交差点周辺において、朝夕ピーク時を中心に交通渋滞が発生するなど新たな課題も発生しています。



暫定2車線時の渋滞状況(H28.10)

平成30年3月には、一部4車線化しており、今後、全線4車線の開通で、渋滞緩和やバイパスの速達性向上が期待されており、周辺工業団地の企業立地の一層の促進や、治道への新たな施設・店舗の進出など、更なるストック効果の発現が期待されます。



4車線化完成状況(H30.3)

計画概要

事業名	一般国道21号可児御嵩バイパス
全区区間	岐阜県可児郡御嵩町井尻～同県可児市中恵土
計画延長	8.0km
構造規格	3種1級
車線数	4車線(暫定時は2車線)
設定速度	80km/h

事業の経緯

昭和50年 7月	都市計画決定(可児市)
昭和59年 3月	都市計画決定(御嵩町)
平成 3年度	事業着手
平成 5年度	用地買収着手
平成12年度	工事着手
平成17年 3月	延長1.9km(暫定2車線開通)
平成17年 4月	延長2.4km(暫定2車線開通)
平成22年10月	延長3.7km(全線暫定2車線開通)
平成30年 3月	延長1.3km(一部完成4車線開通)

国道21号 可児御嵩バイパス

